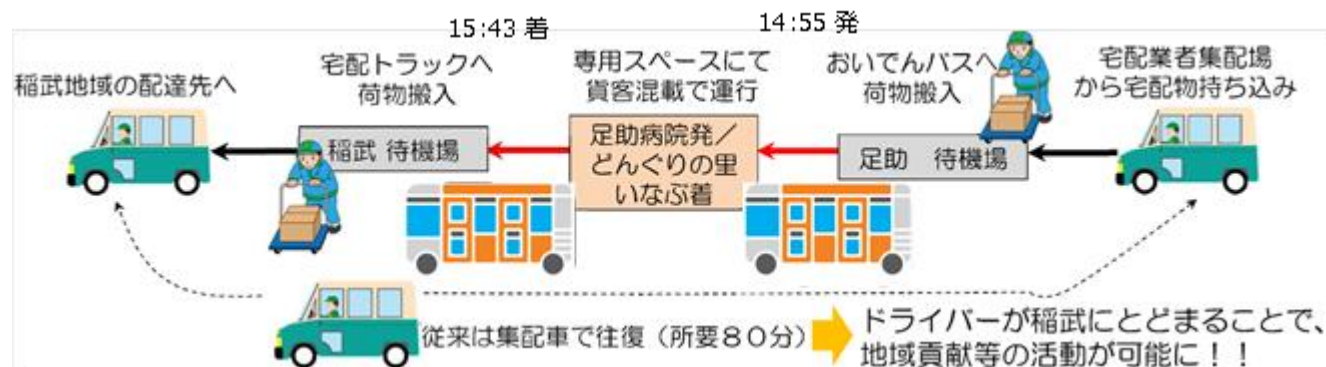


とよたおいでんバス稲武・足助線における貨客混載実証実験の評価

1 実証実験の概要

- (1) 実証期間：平成29年8月9日（水）～平成30年1月31日（水）【約6か月間】
- (2) 実施路線：とよたおいでんバス稲武・足助線
- (3) 協力企業：ヤマト運輸株式会社中部支社、豊栄交通株式会社
- (4) 実施方法：毎週火～土



2 実証結果

- (1) 測定期間：8月9日～10月31日
- (2) 評価項目：実施率、関係者ヒアリング、バス利用者アンケート、宅配事業者による地域貢献

ア 実施率：28%

	予定日数	実施日数	実施率
8月	14	7	50%
9月	21	7	33%
10月	21	5	24%
計	68	19	28%

(3) 実施率が低かった原因

【原因①】 9月下旬から1月まで稲武から全国への出荷（日本酒）増加により、集配車が2回足助へ運送。稲武への帰路に午後の宅配物を稲武に運送
⇒おいでんバスへの依頼が不要に

【原因②】 もみじ祭りの時期は、香嵐溪の露店への配達が多くバスへの積込みのタイミングを取りづらい

(4) 実施率向上に向けた対応

【対応①】 稲武での集荷に対しては、ヤマト配送車を大型化を検討

【対応②】 足助地区のヤマト運輸の配達エリアを見直し（他エリアの配達員が足助エリアをカバー）、足助地区の負担を減らす。

イ 関係者ヒアリング

（豊栄交通株式会社）

【課題】 稲武での荷卸し（豊栄交通稲武営業所内）の際、構内にスペースの余裕がない

【原因】 荷卸しの時間帯は、車両の出入りが多い

【対応策】 荷卸し場所の変更検討（豊栄交通、ヤマト運輸、市）

（ヤマト運輸株式会社）

【課題】 稲武地域におけるヤマト運輸ドライバーの休憩場所の確保

【対応策】 貨客混載実施時の空き時間を利用した地域貢献とあわせて検討

（ヤマト運輸、市）

ウ バス利用者へのアンケート結果

【実施時期】 11月14日～12月17日

【手法】 バス車内へのアンケート用紙設置と利用者への声掛け

【回答数】 28名

【結果】

Q1	バスでの宅配物輸送（2席分使用）は乗車に不便となるか	不便	3
		不便とならない	24
Q2	今後宅配物輸送のスペースを拡大（2倍程度）したらどう思うか	不便	4
		不便とならない	23
Q3	今後の宅配物輸送の継続についてどう思うか	今後も続けてよい	16
		今後は続けなくてよい	8
		いただいたご意見「高齢者は前の方に座りたい」「座席が減る」「客の多い時間はなくせないか」	

【評価】 概ね貨客混載事業に理解をいただき、利便性への影響は少ないと思われるため、現状のスペースでの運搬は問題ないと思われる。

3 評価とまとめ

貨客混載は、バス利用への影響が少なく収入が見込めるため、今後も実施率を高める改善を行いながら本格運行に繋げる（平成30年1月26日予定）。